

生活支援団体 ネットワークかわら版

— 第11版 —

2023年度 第1回 生活支援団体ネットワーク連絡会を開催しました。



7月10日(月)町田市庁舎会議室にて、生活支援団体ネットワーク連絡会を開催し、当日は、12団体16名が参加されました。

■アフターコロナの生活支援活動について
4グループに分かれ、それぞれの活動状況の意見交換をし、コロナ禍でも団体によっては活動数が増えたこととでした。また、この期間に新規団体も立ち上がりました。

コロナ禍での活動外の感染対策としては、懇親会の中止、定例会のオンライン化、会議時間の短縮、チラシ配布の中止等を講じたとのことでした。

5類感染症に引き下げられた今、マスクの着用やアルコールでの消毒は継続し、注意しながら活動をしているとのことでした。更に、オンライン会議、LINEグループ等の新しい仕組みを取り入れて活動している団体もありました。

新型インフルエンザ等感染症(2類相当)と5類感染症の主な違い

新型インフルエンザ等感染症

発生動向

- ・法律に基づく届出等から、患者数や死者数の総数を毎日把握・公表
- ・医療提供の状況は自治体報告で把握

医療体制

- ・入院措置等、行政の強い関与
- ・限られた医療機関による特別な対応

患者対応

- ・法律に基づく行政による患者の入院措置・勧告や外出自粛(自宅待機)要請
- ・入院・外来医療費の自己負担分を公費支援

感染対策

- ・法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組み
- ・基本的対処方針や業種別ガイドラインによる感染対策

ワクチン

- ・予防接種法に基づき、特例臨時接種として自己負担なく接種

5類感染症

- ・定点医療機関からの報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表
- ・様々な手法を組み合わせた重層的なサーベイランス(抗体保有率調査、下水サーベイランス研究等)

- ・幅広い医療機関による自律的な通常の対応
- ・新たな医療機関に参画を促す

- ・政府として一律に外出自粛要請はせず
- ・医療費の1割~3割を自己負担
入院医療費や治療薬の費用を期限を区切り軽減

- ・国民の皆様の主体的な選択を尊重し、個人や事業者の判断に委ねる
- ・基本的対処方針等は廃止。行政は個人や事業者の判断に資する情報提供を実施

- ・令和5年度においても、引き続き、自己負担なく接種

○高齢者など重症化リスクが高い方等：年2回(5月～、9月～)
○5歳以上のすべての方：年1回(9月～)

厚生労働省ホームページより引用

■町田市生活支援団体とは

生活支援団体とは、地域の助け合いの関係を基盤として、ちよつとした生活の困りごとへの支援(生活支援)を住民が主体となつて行うグループです。今年度は16団体の登録がありました。

■町田市生活支援団体ネットワークとは

社協が市より受託し、町田市で活動する生活支援団体に、情報共有・意見交換の機会を提供、また活動に対するバックアップを行う事で活動の充実・強化を図ることを目的としています。

■町田市生活支援団体ネットワークとは

それぞれの団体の活動の情報共有・意見交換を目的として、年数回(研修含む)開催をしております。

■町田市生活支援事業補助金制度

生活支援団体の活動費の一部を補助しています。今年度は7団体の申請がありました。

下記QRコードは、町田市の生活支援団体についてご覧になります。



発行年月
2023年8月
発行元
町田市
社会福祉協議会
地域福祉課
全域生活支援
コーディネーター
所在地
町田市原町田4-9-8
町田市民フォーラム
4階
お問合せ
042-722-4898

生活支援団体のご紹介 第8弾

町田市の生活支援団体ネットワークに、今年度登録をしている16団体の中から、今回は「玉川学園地区社会福祉協議会」を紹介いたします。


玉川学園地区社会福祉協議会

2016年に、玉川学園地区社会福祉協議会の新しい取り組みとして、全くの素人が手探りで「日常のちょっとした困りごと」を対象とした「地域の支え合い玉ちゃんサービス」をスタートしました。目標は、かつてあった近所同士の「小さな助け合い」をこの地域に復活させることです。

この活動は有償ですがボランティア活動です。活動を行った結果、利用者と活動者が「良かった！」「ありがとう！」とお互いに満足できることを理想としています。

「お互いさま」を合言葉に感謝の気持ちを忘れない

1-2. 提供するサービス



- 家事支援：掃除、洗濯、買い物代行、ゴミ出し、食事づくり等
- 子育て支援：お母さんへのお手伝い
- 外出支援：病院への付き添い、趣味の活動参加の付き添い等
- 話し相手：趣味の仲間として出張、敷地などの付き添い等
- 簡単な家具の移動、蛍光灯の交換、日用品買い出し等
- 簡単な大工仕事：修理、棚の取り付け等
- 庭の手入れ：草取り、簡単な庭木のカット等
- ちょっとした力仕事：冬のストーブの出し入れ、オイル購入等
- ちょっとした作業：納戸の整理

玉川学園地区社会福祉協議会 2022.02.24



日常生活支援訪問サービス事業
玉ちゃんサービス
協力者用ガイドブック

玉川学園地区社会福祉協議会
〒194-0041 町田市玉川学園 7-4-17-101
Tel & Fax: 042-310-2092
コーディネーター専用: 090-2148-1757
Mail: mtgshakyo@gmail.com

「コロナが落ち着いてきた2022年度に玉ちゃんサービスのコーディネーターは地域でのつながりを生み出し、利用者や活動者のそれぞれの立場を理解することで、双方が満足できるマッチングをめざしています。

「コロナが落ち着いてきた2022年度に玉ちゃんサービスのコーディネーターは地域でのつながりを生み出し、利用者や活動者のそれぞれの立場を理解することで、双方が満足できるマッチングをめざしています。

及び活動者の高齢化による後継者不足等の問題もあり、この活動について原点に戻り、全て見直すことに着手しました。まず、「玉ちゃんサービスの理念」を作りみんなで共有しました。そして、活動の規範として、「コーディネーター用ガイドブック」と「協力（活動）者用ガイドブック」を話し合って作成しました。

また、活動情報を共有するツールとして、スマホのLINEグループをコーディネーター用グループ、活動者用グループと分けて活用することで、色々な相談に迅速に対応することができるようになりました。チラシ配布も再開し、新しい活動者が20名以上増えました。

今年度は、利用の増加を図る事が大きな課題となっております。最近の特殊な事例として独居高齢者の方が室内で転倒されている所を発見し、支援した例が3件ありました。

病院の付き添い・衣類の整理（一緒に必要・不要を話しながら整理したい等）地域特有のいろいろな相談事案が増えて来ています。

まだまだ未熟ですが、地域の支え合いが定着するよう努力を続けていきたいと思えます。

玉川学園地区社会福祉協議会
コーディネーター 岩崎克己

日常生活支援訪問サービス事業
玉ちゃんサービス動画



■援助内容

見守り・話し相手、調理、掃除・洗濯、裁縫、ゴミ出し、修理・部品交換（電球等含む）、家具組立・移動、庭・外回りの手入れ等、買物代行、付添支援、その他（必要に応じて）



コーディネーターと活動者の交流会

■お問い合わせ

受付時間 月々金曜 10時～16時

042-810-2062

生活支援団体を立ち上げたい、生活支援団体ネットワークに参加してみたい等々ございましたら、お住いの地域の高齢者支援センターへご相談下さい。

■活動日 月々金曜 10時～16時

■活動エリア 玉川学園、東玉川学園

■利用料金 1000円／60分

登録制 1500円／1年

